

パネルディスカッション進行方法

- 1 古賀市の現状と課題を紹介して導入提起し、今日の趣旨を確認する。
- 2 パネリスト発言とコーディネーターの討議（質疑等のやり取り）を繰り返す。
- 3 フロアからの質問等にパネリストが答え、参加者と交流する。
- 4 フロア交流の結果を含め、パネリストは今後に向けての考えをまとめる。
- 5 最後に、進行がディスカッションを総括する。

タイムスケジュール（予定）

9：55～10：00 オープニング

10：00～10：10 開会行事

10：10～11：55 パネルディスカッション

パネリスト紹介（2分）趣旨・進め方の説明（3分）

お題1：自己紹介、活動紹介（《2分発表》×3人=6分）

お題2：活動のきっかけ、団体設立（参加）の経緯
（《4分発表+1分質疑》×3人=15分）

お題3：新型コロナウイルス感染症の影響（《3分発表》×3人=9分）

お題4：人と文化の継承（《5分発表+2分質疑》×3人=21分）

-----フロア交流（30分）-----

お題5：今後の展望（3分×3人=9分）

まとめ（3分）

11：55～12：00 閉会行事

パネルディスカッションお題

お題1：自己紹介、活動紹介

- (例) ・氏名、所属団体の活動内容
・活動の場所・頻度・時間・団体構成など

お題2：活動のきっかけ、団体設立(参加)の経緯

- (例) ・団体設立から関わっている場合→活動のきっかけから団体設立の経緯
・団体に加入した場合→活動のきっかけ、自分が団体に加入するきっかけや
どうしてその団体を選んだか、など

お題3：新型コロナウイルスの影響など

- (例) ・コロナ禍になってからの活動の減少や増加
・コロナ禍によりやめた活動や新しく始めた活動など

お題4：人と文化の継承について

●後継の育成について

- (例) ・次の世代をどう取り入れているか、後継者をどう確保するか
・育てた人材のその後について

●文化の継承について

- (例) ・活動をどう存続させていくか・いかに守っていくか・伝えていくか
・存続が難しい行事や活動に対する対策
・時代に合った新しいやり方・手段の模索

お題5：今後の展望

- (例) ・団体をこんな風にしていきたい、こんな活動をしていきたい
・来てくれている方に、どんな活動をしてほしいか